

大館市の子どもたちに「確かな学力」を

第7次学力向上に関する提言

平成23年3月22日(火)

大館市教科学習推進委員会

目次

提 言

P 1 ~ 5

1 経過及び趣旨	…	1
2 ねらい	…	2
3 各教育機関に期待すること	…	2
(1) 大館市教育委員会		
(2) 大館市教育研究所		
(3) 大館市教育研究会		
(4) 校長会		
(5) 教頭会		
(6) 教務主任会		
(7) 研究主任会		
(8) 進路指導協議会		
4 各学校に期待すること(共通実践事項)	…	5
5 教科学習推進委員会が行うこと	…	5
6 結びに	…	5
◆ 第7次学力向上対策「確かな学力」の向上を図る	…	6

これまでの取組の成果と課題

P 7 ~ 21

1 各教育機関で取り組む施策の成果と課題	…	7
2 各学校で取り組む共通実践事項の成果と課題	…	12
3 学力の状況		
(1) 標準学力検査の結果から	平成17年から平成22年	… 13
(2) 県学習状況調査の結果から	平成18年から平成22年	… 14
(3) 全国学力・学習状況調査の結果から	平成19年から平成22年	… 16
4 「教科学習推進委員会」委員名簿	…	17
◆ 第6次学力向上対策構造図	…	18

■活用資料

パワーアップの手引き	教師用	…	19
//	小学校5・6年生用	…	20
//	中学生用	…	21

1 経過及び趣旨

大館市教科学習推進委員会は、本市における学校教育の最重点課題である「学力向上」について、大館市教育長から諮問を受け、平成20年3月に第6次答申(学力向上に関する提言－3か年計画－)を行いました。以来、大館市の学校教育に関係する諸機関が一丸となって「育てたい確かな学力」、「身に付け高めたい確かな授業力」として「確かな学力」の充実に向けて、小学校・中学校の連携の推進も図り、昨年度は初めての中間のまとめを行うなどして、学力向上施策に鋭意努力してきました。ここに大館市教育委員会をはじめ関係諸機関各位に、これまでの取組に対し甚大なる敬意を表します。

本市では、NRTを実施して、各校児童生徒の実態を明らかにし、課題解決等に対応した学習指導を推進し学力向上を目指してきました。また、県の学習状況調査や、全国学力・学習状況調査等の実施にともない、全県的・全国的見地から本市の学習の課題等も見え、活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し評価・改善する力等の向上に取り組んできたところでもあります。今年度は成績も上向きとなってきましたが、今後も全教職員が力を合わせ「活用する力を育てるための授業づくり」、「学力向上を目指した各学校間の積極的な連携」を推し進めることで、大館市の子どもたちの「確かな学力」を育む授業改善に取り組み、教育活動の一層の充実を図ることが求められます。

新学習指導要領の全面実施が小学校は平成23年度、中学校は24年度からとなっています。改訂の基本方針にかかわり、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成のバランスを重視することや教育課程の編成の創意工夫が求められています。今以上に子どもに寄り添って、高まりつつある力をより一層高めるためにも「子どもと教職員の力を1割アップしよう」のスローガンを継続し、学校や教職員が明確な目標設定をし実践することで、児童生徒の健やかな成長とともに学力保障ができるよう祈念して、平成23年度から向こう3か年で取り組む、第7次学力向上に関する提言をいたします。

2 ねらい

◎ 「確かな学力」の向上を図る

＜育てたい「確かな学力」＞

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
- 学習意欲・学習習慣

＜身に付け高めたい「確かな授業力」＞

- 生徒指導の機能を生かした学習指導
＝(自己決定する場がある、自己存在感がもてる、共感的人間関係を育てる)学習指導
- 積極的な研修

3 各教育機関に期待すること

(1) 大館市教育委員会

- ① 研究委嘱校等による学力向上施策の研究実践と公開
 - 研究内容や研究委嘱に応じて、研究、公開等への指導・援助
 - ホームページによる研究実践内容等の公開
- ② 新学習指導要領等の趣旨を踏まえた教育課程の改善と実施
 - 基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成を重視する教育課程の在り方(新学習指導要領の周知と徹底)
 - 授業時数の増加への対応、言語活動の充実、理数教育の充実
- ③ 学力向上のための諸条件整備
 - 知能検査、NRTにかかわる予算措置
 - ICT支援員、ALTの配置

(2) 大館市教育研究所

- ① 学力向上のための実態把握と情報の収集・提供
 - 標準学力検査(NRT)分析と指導方法改善
 - ・教科学習推進委員会と教務主任会、研究主任会との連携
 - 県学習状況調査と全国学力・学習状況調査結果の分析と指導方法改善
 - ・教務主任会、研究主任会との連携
- ② 教職員の指導力・資質向上を図る研修会と指導の充実
 - 初任者研修、学級担任研修会、地域研修の実施
 - ICT研修講座の実施
 - 教職員研究実践発表会、教育講演会の開催
 - 指導主事による学校訪問(指導・支援・相談)の充実
- ③ 指導資料の収集・提供、保存
 - 各学校研究紀要、大館市教職員研究実践発表会研究報告等の収集・提供、保存
 - 研究紀要「研」、所報「教育おおだて」の発行

(3) 大館市教育研究会

① 市の学力向上につながる研究の推進と実践の交流

- 会場校における、授業研究会・テーマ研究会の積極的な推進
 - ・総合研究会（第1回、第2回）
 - ・小・中学校教科研究部会（小学校9教科、中学校9教科）
 - ・小・中学校教科外研究部会（道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動）
 - ・小・中合同研究部会（特別支援教育、学校保健、学校栄養、学校事務）
- 研究紀要「究」の発行
 - ・冊子及び市ホームページ掲載
- 教科部会における、NRT・中学3年共通テスト等で理解の不十分な内容についての対策や指導の検討
- 他校の研究や指導方法を学ぶ授業等交流の推進

② 小・中連携の推進

- 中学校区ごとの共通の課題解決に向けた実践の推進
 - ・中学校区ごとに小・中連携委員会と小・中連携研究部会を設置し、研究会を実施
- 人・物・ことの積極的交流
 - ・小・中相互に、教職員・物品・行事等を積極的に活用

(4) 校長会

① 学力向上施策について協議する学校経営研究会の開催

- 「確かな学力」の向上、教職員の資質向上を念頭に置いた協議と具体的な方策等についての共通理解
- 市全体の学力の状況の把握と対策

② 学力向上のための関係諸機関との連携

- 教頭会との連携、各協議会・各委員会での指導
- 連絡協議会等を生かした就学前教育関係施設、高校との連携

③ 学力向上のための特色ある学校経営の推進

- 子どもの実態、学校関係者評価、小・中の連携等を踏まえた特色ある学校経営の推進
- 指導法改善のための授業公開

(5) 教頭会

① 小・中連携の効果的な在り方を協議する教頭研修会の充実

- 小・中連携の現状を確認し、よりよい連携の在り方を探る場の工夫
- 小・中連携のパイプ役となる教頭のかかわり方についての協議、情報交換

② 教職員の授業力向上を図る手立ての工夫と実施

- 各教師の授業力の把握と指導・助言の在り方についての協議、情報交換

③ 学力向上を支える基本的生活・学習習慣を確立するための、家庭や地域への働きかけと連携強化

- 学校関係者評価等を生かした信頼される学校づくりの推進
- 学校と家庭や地域が協力して取り組む体制強化の工夫

(6) 教務主任会

① 新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成と実施

- 「願い」と「ねらい」をもって、子どもの成長と学力を保障するための教育課程の編成
- 授業力向上のための研修時間の確保

② 授業時数の確保と時間の効果的な運用の工夫

- 授業における実指導時数の確保と時間の柔軟かつ効果的な運用の工夫
- 各教科等の特質に応じた時間割の編成

③ 学力向上のための小・中連携の推進

- 小・中間の積極的な授業交流の推進と指導内容や指導方法の共有化
- 9年間を見通した共通実践事項の実施

(7) 研究主任会

① 「確かな学力」を高める実践と成果の積極的な交流

- 小・中連携研究部会や各学校間の授業等交流をもとにした成果の共有

② 「確かな授業力」を身に付け高める方法についての研修

- 校内研修の充実
 - ・研修内容及び方法の吟味
 - ・校内研修の計画及び推進

③ 諸検査の分析を生かした指導方法の工夫・改善

- 分析結果を生かした授業づくり
 - ・指導方法の見直し
 - ・相互授業参観を通じた指導方法に関する意見交流

(8) 進路指導協議会

① キャリア教育の視点に立った年間指導計画の策定

- 望ましい勤労観・職業観を培う、小学校段階からのキャリア発達課題を踏まえた系統的で発展的な計画
- 4つの力(人間関係形成能力/情報活用能力/将来設計能力/意志決定能力)の育成を念頭に置いた系統的で発展的な計画

② 全教育活動に機能する進路指導を推進する校内体制の構築

- 進学指導から生き方指導への転換を図り、日常の実践を大切にしようとする行動連携の形成
- 汗して働くことの喜びと尊さ、学ぶことの意義と目的を実感させる啓発的な体験活動の創造

③ 校内間及び他校、他校種との成果の交流と地域との連携の深化

4 各学校に期待すること(共通実践事項)

① 学力向上を目指した各学校間の積極的な連携

- 9年間を見通した中学校区における共通実践事項の設定と実施
- 各学校間の授業等交流

② 「活用する力」を育てるための授業づくり

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する学習活動

5 教科学習推進委員会が行うこと

① 各教育機関の取組状況の把握と働きかけ

- 校長会、教頭会、教務主任会、研究主任会との具体的な連携

② 手引き、分析資料等の作成と活用の促進

- 「小学校パワーアップの手引き」「中学校パワーアップの手引き」の更新(毎年4月発行)
- 標準学力検査(NRT)分析と考察の冊子発行
- 全国学力・学習状況調査(5月速報)、県学習状況調査結果(1月速報)の活用
- 教科学習推進委員会だより「こころみ」の発行

③ 成果の集約と対策、提言

- 確かな学力向上のための具体的取組「パワーアップ」の発行
- 各機関の成果と課題、諸検査・アンケート等の結果をもとにした、方向性の提示
- 中間評価の実施と公表(平成24年度:2年次)

6 結びに

第7次の学力向上に関する提言は、平成23年の新小学校学習指導要領の全面実施とともに始まる3年間の取組となります。

知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視するという指導観は、「確かな学力」の育成を図る根幹であることとして、各学校に期待すること(共通実践事項)の一つである「活用する力」を育てるための授業づくりは、まさに「確かな学力」の育成を目指す際の最重要課題であることを再確認したいものです。

各学校の積極的な連携のもとで互いに切磋琢磨しながら、子どもたち一人一人の「確かな学力」を育てていきたいと思います。

「確かな学力」の向上を図る

目 標

※育てたい「確かな学力」

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
- 学習意欲・学習習慣

※身に付け高めたい「確かな授業力」

- 生徒指導の機能を生かした学習指導
= (自己決定する場がある 自己存在感がもてる 共感的人間関係を育てる) 学習指導
- 積極的な研修

目標達成のために

<3か年で、各学校で取り組む共通実践事項>

① 学力向上を目指した各学校間の積極的な連携

- ・9年間を見通した中学校区における共通実践事項の設定と実施
- ・各学校間の授業等交流

② 「活用する力」を育てるための授業づくり

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する学習活動

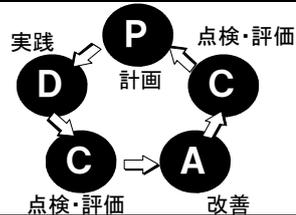
大館市教育委員会

- ① 研究委嘱校等による学力向上施策の研究実践と公開
- ② 新学習指導要領等の趣旨を踏まえた教育課程の改善と実施
- ③ 学力向上のための諸条件整備

教科学習推進委員会

- ① 各教育機関の取組状況の把握と働きかけ
- ② 手引き、分析資料等の作成と活用の促進
- ③ 成果の集約と対策、提言

サイクルを機能させましょう

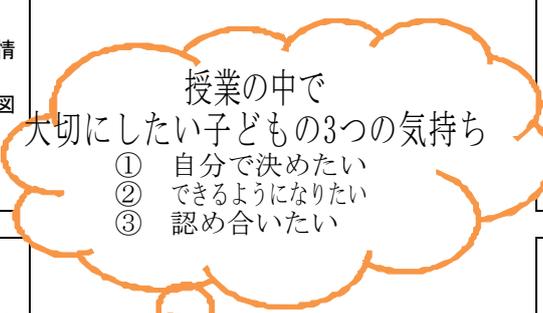


大館市教育研究所

- ① 学力向上のための実態把握と情報の収集・提供
- ② 教職員の指導力・資質向上を図る研修会と指導の充実
- ③ 指導資料の収集・提供

校長会

- ① 学力向上施策について協議する学校経営研究会の開催
- ② 学力向上のための関係諸機関との連携
- ③ 学力向上のための特色ある学校経営の推進



大館市教育研究会

- ① 市の学力向上につながる研究の推進と実践の交流
- ② 小・中連携の推進

教頭会

- ① 小・中連携の効果的な在り方を協議する教頭研修会の充実
- ② 教職員の授業力向上を図る手立ての工夫と実施
- ③ 学力向上を支える基本的生活・学習習慣を確立するための家庭や地域への働きかけと連携強化

【活用資料】

生徒指導の機能を生かした学習指導

パワーアップの手引き 教師用

あなたの成績アップのために

パワーアップの手引き 小学校5・6年用

中学生用

進路指導協議会

教務主任会

- ① 新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成と実施
- ② 授業時数の確保と時間の効果的な運用の工夫
- ③ 学力向上のための小・中連携の推進

研究主任会

- ① 「確かな学力」を高める実践と成果の積極的な交流
- ② 「確かな授業力」を身に付け高める方法についての研修
- ③ 諸検査の分析を生かした指導方法の工夫・改善

これまでの取組の成果と課題

1 各教育機関で取り組む施策の成果と課題

(1) 大館市教育委員会

施策① 研究委嘱校等による学力向上施策の研究実践と公開

- ホームページに関係各校の研究実践内容等の公開をした。
- 研究委嘱校の成果の活用状況の検証が不十分である。資料の活用状況の実態調査の実施し改善につなげたい。

施策② 学習指導要領の改訂に向けての教育課程の改善と教育課程編成委員会の設置

- 平成20年度教育課程編成委員会により、新学習指導要領等の趣旨を踏まえた移行期間中の年間指導計画を作成し配付した。大館市の移行措置期間の対応を示し、授業時数の増加、言語活動の充実、理数教育の充実、小学校段階における外国語活動への対応の方向性を示した。
- 平成21年度の大館市の重点の一つに「読解力」「活用する力」を示し改善の方向性を示した。
- 平成22年度教育課程編成委員会により、新学習指導要領に対応した各教科等の年間指導計画を作成した。

施策③ 学力向上のための諸条件整備

- 全国学力・学習状況調査実施にともない諸検査等の枠組みと補助対象を変更し、NRT検査の充実を図った。(H20)
- 大館市小・中学校教員研修視察事業として確かな学力の定着を目指した施策に係る研修(富山県 H21)及び各校で本事業予算措置による自主研修(H21、22)を実施した。
- 全国学力・学習状況調査の抽出実施にともない、全体、設問、観点ごとの集計と個人票の作成を行った。抽出校とともに、その他の学校すべてが希望し調査を実施した
- 研修成果を各校の教育活動に生かす機会の拡充が不十分である。特に、大館市教職員研究実践発表会で関連した発表数の増加を期待したい。

(2) 大館市教育研究所

施策① 学力向上のための実態把握と情報の収集・提供

- NRTの結果を踏まえた学習指導改善の具体策作成(NRT分析委員会)、全国学力・学習状況調査結果を踏まえた学習指導改善の具体策と読解力向上の具体策として指導事例を作成(全国学力・学習状況調査分析委員会)し、ホームページに公表した。(H20、21、22)
- 教務主任、研究主任による各調査結果の分析作業を実施した。
中間評価の結果を踏まえて再調査を実施したり資料の見直しをしたりした。
(教務主任会:資料の活用状況の調査 研究主任会:資料の見直しなど)
- 分析資料や指導資料等の活用状況はよくなってきているが、依然周知は不十分である。より内容を改善したり周知を徹底する必要がある。

施策② 教職員の指導力・資質向上を図る研修会と指導の充実

- 電子黒板の使い方についての研修、ホームページについての研修（情報教育推進委員会）を実施した。
- 新学習指導要領（H20）、小・中連携（H21）、生徒指導（H22）に関する教育講演会を開催（8月）した。
- 各学校の研究計画に基づく学校訪問の実施と授業改善に係る重点施策徹底を支援するための事前訪問を実施した。（H20、H21、H22）
- 思考力・判断力・表現力等に係る指導の在り方や取組に課題があるとする学校が多かった。「確かな指導力」の向上を図る研修という点で課題がある。

施策③ 指導資料の収集・提供、保存

- 大館市教職員研究実践発表会研究報告集 研究紀要「研」、大館市教育研究会 研究紀要「究」、教科学習推進委員会便り「こころみ」、各校の学力向上策計画、評価「パワーアップ」、諸調査分析及び改善策をまとめた資料等をホームページ掲載等で情報提供をした。

(3) 大館市教育研究会

施策① 市の学力向上につながる研究の推進と実践の交流

各学校間の積極的な交流における成果と課題

- 成果として、校内研究会の授業を市教研の交流授業等に積極的に公開し、他校の参観者から感想や意見を聞くことにより授業力向上につなげていた。指導案検討会への参加も有効な学びの機会となっていた。事前に年間の参加希望をとることで、参加意欲を高めている学校もあった。また、第2回総合研の持ち方について、資料持ち寄り、資料持ち寄りなし、実技研修を含む、講演等、各部会でそれぞれ工夫した持ち方で各部会とも授業研究会を中心に熱心な協議が行われた。ワークショップ型協議や小グループ協議などで協議された。
- 課題として、授業参観の奨励と授業に関する日常的意見交換が不十分、行事で日程調整がつかない、授業の補充体制が確保できなかった、小・中教師の専門性や得意分野を生かした授業の工夫が不十分、研修成果の共有がされていない等が挙げられる。また、第1回総合研での世話人や授業者の決定は、毎年難航する部会が見られる。会員が授業力向上を目指すための共同研究の場であることを確認し合い、授業者の決定の仕方について改めて検討の議論を行う必要がある。

施策② 小・中連携の推進

小・中連携を通じた学力向上への取組における成果と課題

- 小・中連携部会での授業提供、学習習慣等の情報交換、TTの授業により授業力向上に努めた。特に、小学校においては授業交流会への参加率が高まっている。導入の工夫や授業の終末段階の在り方等を小中共通の話題とした協議や、学力検査や学習状況調査、授業改善についての協議とその情報の共有化は効果的であった。また、小・中それぞれの重点施策から、学区の児童生徒の実態に合わせた共通実践の取組が見られてきた。
- 小・中連携部会の重要性への認識は高まってきているが、小・中学校や学校間での温度差、小・中の授業交流の難しさ、年1回の研究会では共通実践の内容まで深まることができない等課題も多い。共通実践事項を何にするか毎回問題になる校区もあった。9年間を見通した学習及び生活習慣の在り方、中1ギャップ解消の方法等を今後とも話し合っていきたい。

(4) 教科学習推進委員会

施策① 各教育機関の取組状況の把握と働きかけ

- 学力の定着と向上の施策「パワーアップ」の発行、標準学力検査（NRT）分析と考察の冊子発行は当初の計画に沿って実施できた。特に、各学校の学力向上の取組を、学校評価と関連させ取りまとめ公表（ホームページ掲載）により働きかけを強化することができた。
- より児童生徒の指導に近い部分として、教務主任会、研究主任会との連携を強化する必要がある。

施策② 会報「こころみ」等による事例紹介と意識の高揚

- 「小学校パワーアップの手引き」「中学校パワーアップの手引き」は教頭会が中心になって見直しと改善を図った。また、研究主任会が把握した活用状況をもとに働きかけを行った。
- 言語活動の充実、電子黒板の活用、外国語活動、小・中連携、全国学力・学習状況調査の活用など、現在の課題を取り上げ、新学習指導要領の周知と理解の促進にその役割を果たした。
- 活用状況の把握にやや不十分な点がある。周知と活用の促進のために各関係機関と更なる連携を図る。

施策③ 成果の集約と対策、提言

- 中間評価（2年次:平成21年度実施）の結果を平成22年度の取組に生かし改善を図ったことが、学習意欲と確かな学力の向上につながった。
- 9年間を見通した計画と取組、思考力、判断力、表現力等の育成という項目の改善策の具体化が必要である。

(5) 校長会

施策① 学力向上施策について協議する学校経営研究会の開催

- 年2回の学校経営研究会を開催し、「確かな学力」の向上のための具体的取組を念頭に置いた協議がなされた。テーマは「小・中学校・地域等との具体的な連携を図った学校経営」や「小から中への滑らかな移行」、「第6次学力向上の提言における各校での取組と校内体制」等を取り上げ、共通理解を図ることができた。
- 学力向上を校長の学校経営の中核に据え、児童生徒一人一人の学力向上を更に図るための具体的な方策等について、各校の状況や環境に応じた授業改善を進めたい。

施策② 学力向上のための関係諸機関との連携

- 各校の学力向上の具体的な取組が「パワーアップ」で共有されている。それらが各校において十分に浸透し実践されているか成果を確認し合ったことが大きな成果であり、PDCACのサイクルが意識されてきている。また、学校評価との関連が明瞭になったことで具体的な取組が各校でなされている。
- 小・中連携部会では、より実質的な連携を目指して学校評議員会の1回を合同開催とし、家庭・地域を含めた家庭学習の在り方等についても話し合われるなど中学校区での共通理解が図られた。連携の方向性や課題が明確になり、具体的な推進ができる体制が整ってきている。

- 教頭会との合同研修会では、小・中の連携による効果等具体的に意見交換を行った。
- 中高連絡協議会は年2回開催し、情報交換等によりお互いの理解を深めた。

施策③ 学力向上のための特色ある学校経営の推進

- 指導法改善に向けて、要請研や自主公開等で自校の授業公開と改善が進められている。また、他校に出向いての授業や情報交換などを工夫し、授業改善に向けた取組が行われている。
- 「学力向上の提言と自校の研究」や「学校経営と評価」を切り離れたものではなく、評価と改善を繰り返しながら更に特色を生かした学校経営を進めたい。

(6) 教頭会

施策① 教職員の指導力向上を協議する教頭研修会の充実

- 市教頭会の活動の重点として、「学力向上」「教職員の資質向上」「家庭・地域との連携」「教頭としての指導力の向上」「特別支援教育」の5分科会で研修をしている。21年度は「学力向上」部会において小中連携に係る視点で話し合いをした。22年度は「特別支援教育」を除く全分科会で「学力向上」の視点で話し合いをした。
- 分科会報告等で共有はあるものの、共通で実践していく施策の決定までには至っていない。
- 「教職員の資質向上」に関して「人事評価」と「学校評価」を関連付けた教職員への指導や助言が効果的であることを確認した。(平成21年度東北教頭研修大会で発表)

施策② 学力向上のための効果的な教頭のかかわり

- 各校とも自校の学力向上の課題を踏まえ、組織的な校内研修体制づくりを進めている。
- 学習指導における小中連携を円滑にするためのパイプ役・調整役として実践に課題がある。

施策③ 家庭や地域社会との連携

- 学校支援地域本部事業の活用校は地域連携を強化し成果を上げてきている。
- 学力向上の土台ともなる基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）や家庭学習の習慣化について、家庭と地域と学校が協力して取り組む指導や施策の具体性や継続性に課題がある。

(7) 教務主任会

施策① 学習指導要領の改訂に向けた教育課程の編成と実践交流

- 少人数学習とTT指導や必要に応じて授業時間以外（朝や昼、放課後）に補充的な学習等を実施することで成果を上げている。より効果的な少人数学習、TT指導、補充的な学習の在り方（運用方法、計画性、継続性）を課題として検討している学校もある。
- 小中連携の一つとして小・中学校相互の授業参観を実施したり、研究会へ参加したりすることが子どもの学力向上や教師の指導力向上、授業改善につながっている。また、教科等の授業交流会への参加を通して教師一人一人が授業改善、指導力向上につなげて

いる。一方、授業参観等の実施について課題としている学校もある。

- 小学校では外国語活動が行われたことによる時数減に対応し、改訂に向けての情報交換を行い、総合的な学習の時間の全体計画、特別活動の年間指導計画等の見直しや改善が図られた。中学校においては今後、情報交換や実践交流の場を設けていきたい。

施策② 授業時数の確保と時間の効果的な運用の工夫

- 授業時数については、授業交換や行事等の工夫することで授業時間を確保したり、自習をつくらないないように配慮したり、各校で授業時数確保の取組がなされたことにより全ての学校で標準時数以上の時間を確保することができた。その他、集計ソフトを使用して時数管理を行う学校も増えている。
- 言語活動の充実や確かな学力の育成を目指した運用の工夫については、各校の課題として取り組んでいる状況である。情報交換の場を設け効果的な運用について研究していきたい。

施策③ 諸検査の分析・考察と教育課程の工夫・改善

- NRT、学習状況調査等の分析や結果を踏まえた指導のために、研修会を設けて職員の共通理解を図ったり、補充的な指導の時間などを教育課程に位置付けたりしている。補充的な学習の成果を確認する時間を確保し、ミニテストを実施している学校もある。

(8) 研究主任会

施策① 「確かな学力」を高める実践と成果の交流

- 言語活動の充実、表現力の育成といった新学習指導要領の移行措置に伴う新しい内容について情報交換できた。
- 思考力・判断力の育成については、自校の研究テーマとの兼ね合いもあり、成果の交流までには至っていない。

施策② 「確かな授業力」を高める方法についての研修

- 教材研究・指導案作成への支援、事後研究会の持ち方の工夫について情報交換し合い、自校の研修へ生かすことができた。平成22年度のワークショップ型授業研究会の研修や部報や紀要についての情報交換も有益であった。
- 研究推進にかかわる内容について今後も情報交換をし、市全体の授業力向上を図ってきたい。

施策③ 諸検査の分析・考察と指導方法の工夫・改善

- 諸調査の分析と補充がどの学校でも一定のサイクルで機能している。過去の分析結果を活用し、正答率が低い内容や分野の授業に生かすといった取組の質的転換もなされている。
- 分析成果を普段の授業へ一層生かすといった工夫を進めたい。

2 各学校で取り組む共通実践事項の成果と課題

① 小・中連携を通じた学力向上の取組

- 小・中連携を通じた学力向上への意識は高まっている。授業交流や授業参観、部会での情報交換が積極的に行われている。
- 小・中連携で情報交換と課題の分析止まりから、一步進んで具体的な授業改善策の策定と実施につながることを望まれる。
- 9年間を見通した系統的な視点による指導方法の工夫・改善の取組が不十分である。

② 各学校間の積極的な交流

- 市教育研究会において授業交流、指導案の検討会、授業公開等が積極的に行われている。
- 教育課程の位置付けや校内の体制が不十分のため、多忙であることや補充する人がいないことが授業交流に参加できない原因になっている。

③ 諸検査の分析と結果に基づいた指導

- 各校で結果を踏まえた補充指導や回復指導が積極的に行われ、基礎的・基本的な知識・技能の習得の面で成果を上げている。
- 思考力・判断力・表現力等の向上を図る指導及び施策の充実を図る必要がある。

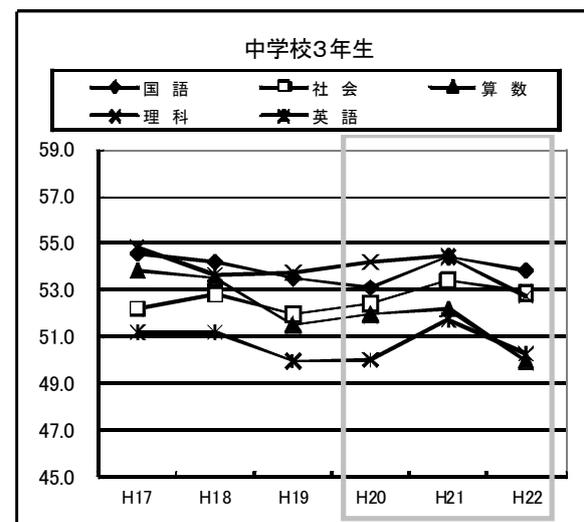
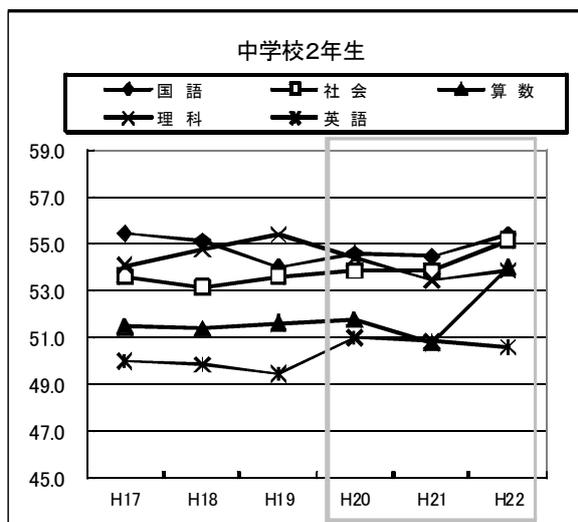
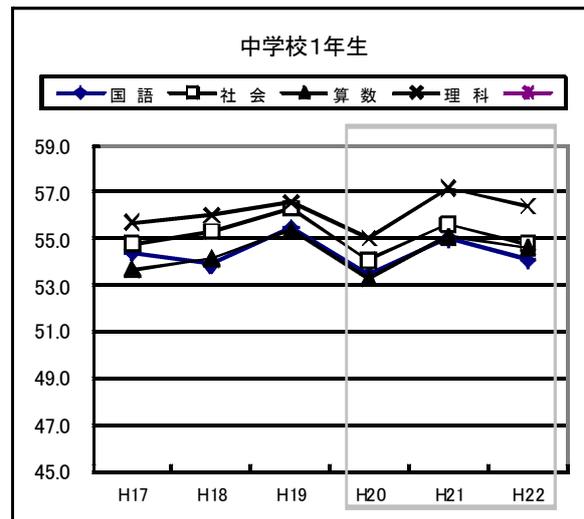
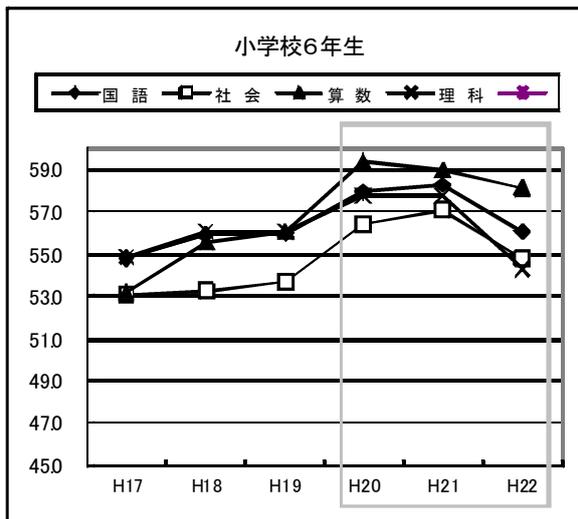
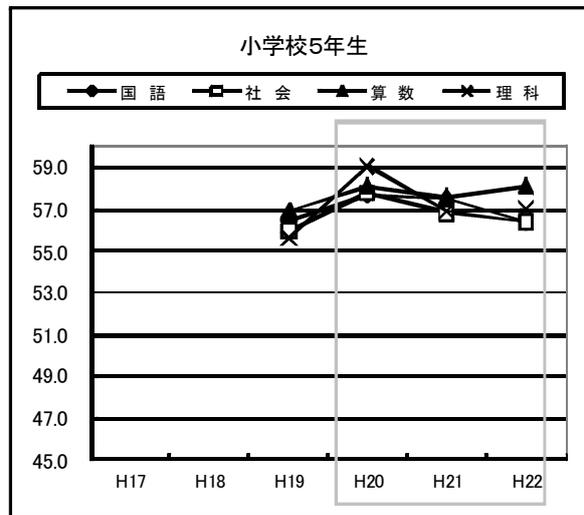
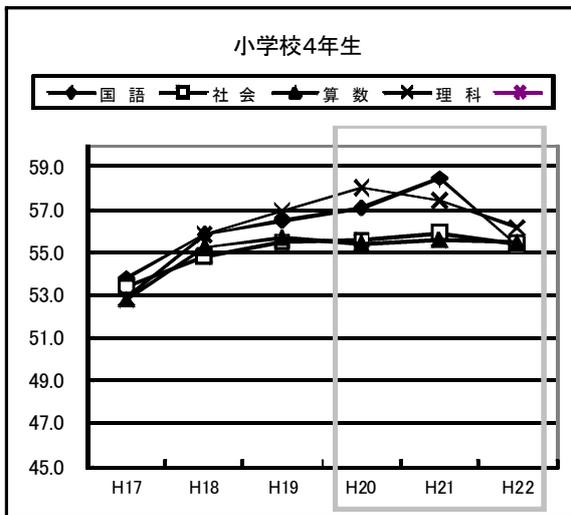
④ 確かな学力を確立するための教育課程の工夫

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得をねらいとした学習活動(少人数指導、TT指導、ドリル学習、個別指導等)において成果を上げている。
- 言語活動の充実、体験活動と学びの関連付け等において工夫を要する。

3 学力の状況

(1) 標準学力検査の結果から

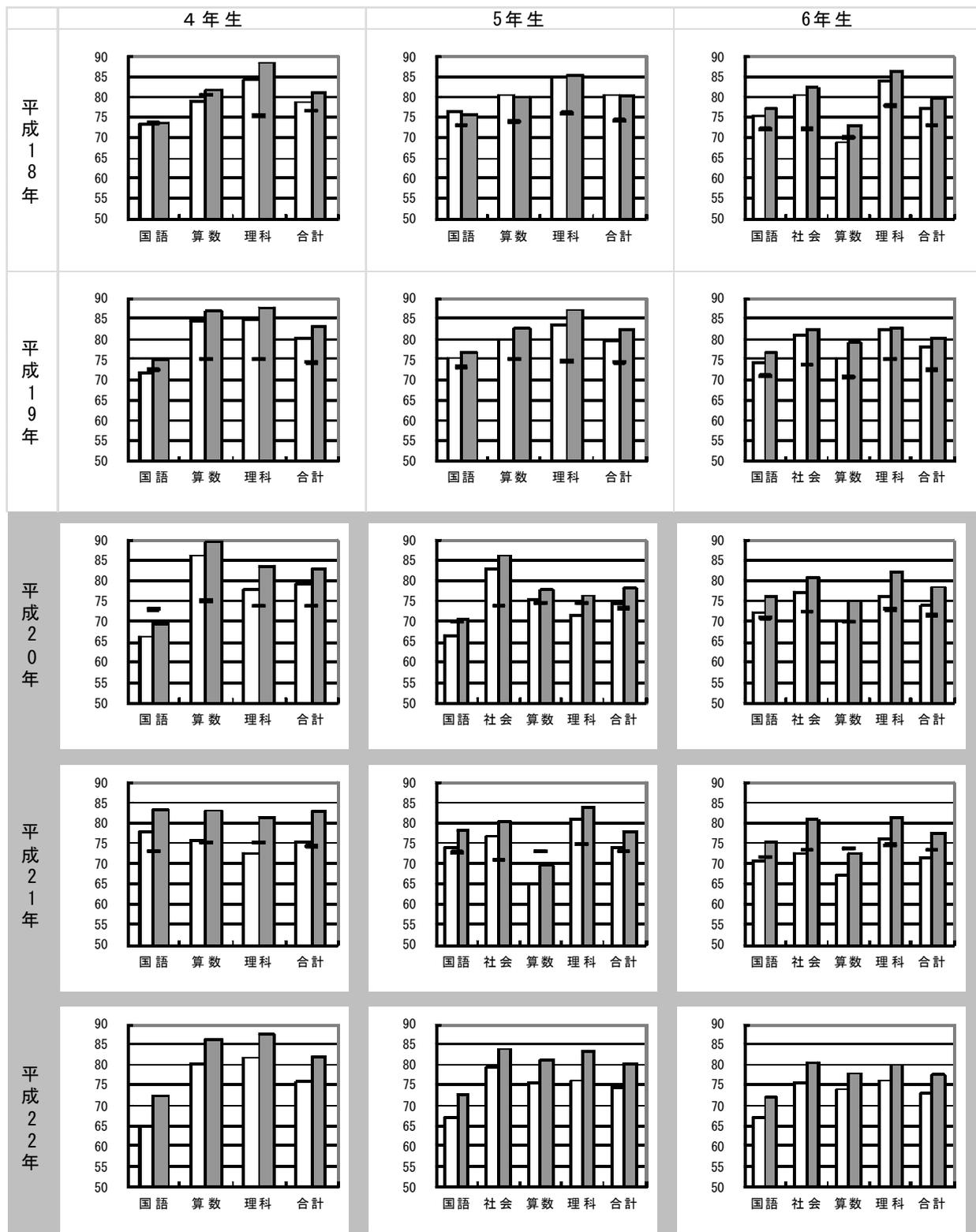
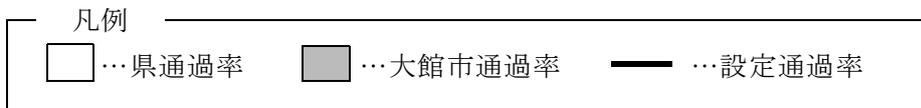
平成17年から平成22年



(2) 県学習状況調査の結果から

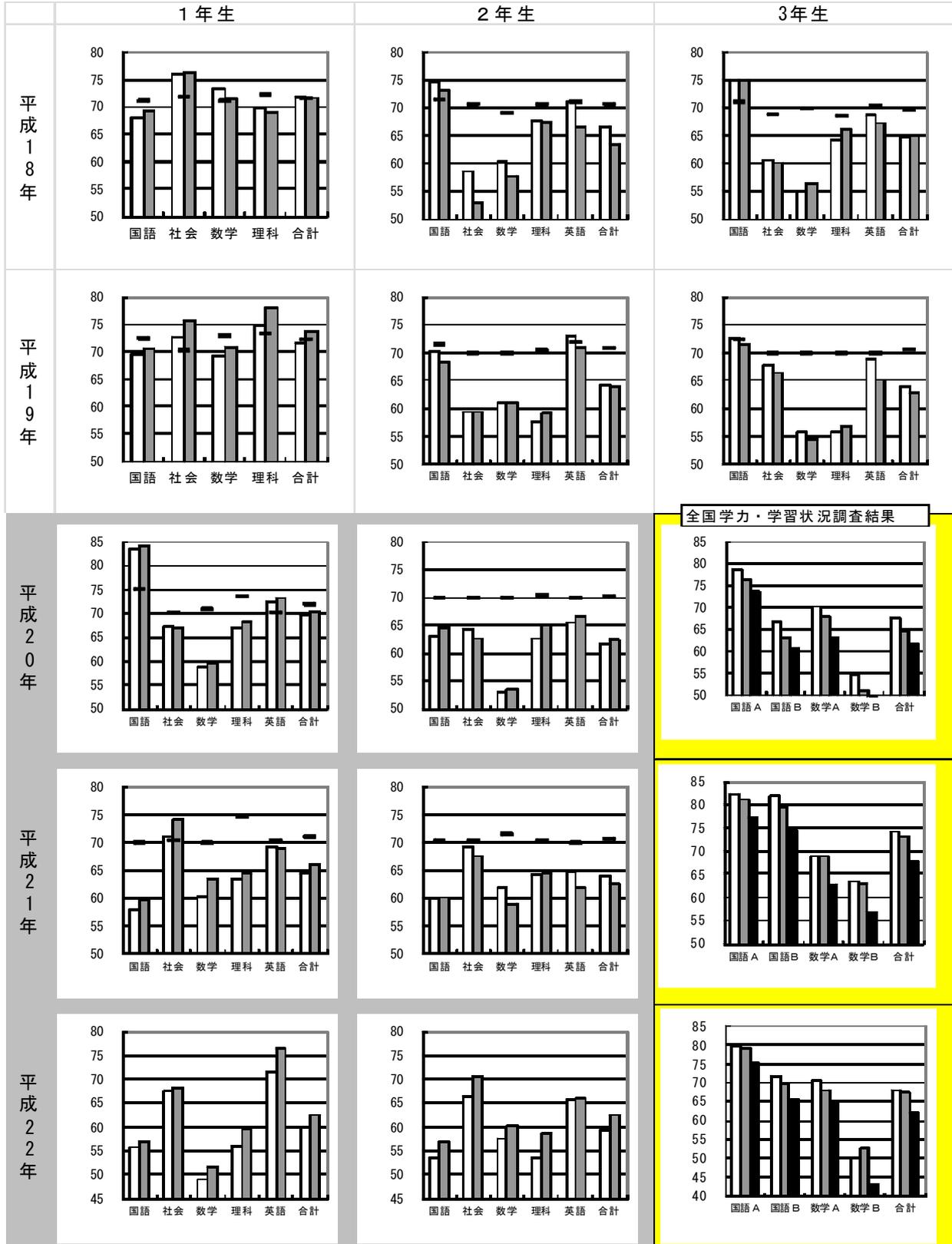
平成18年から平成22年

平成18年から平成22年度の小学校4年生、5年生、6年生の各教科の通過率(県通過率、大館市通過率、設定通過率)の一覧



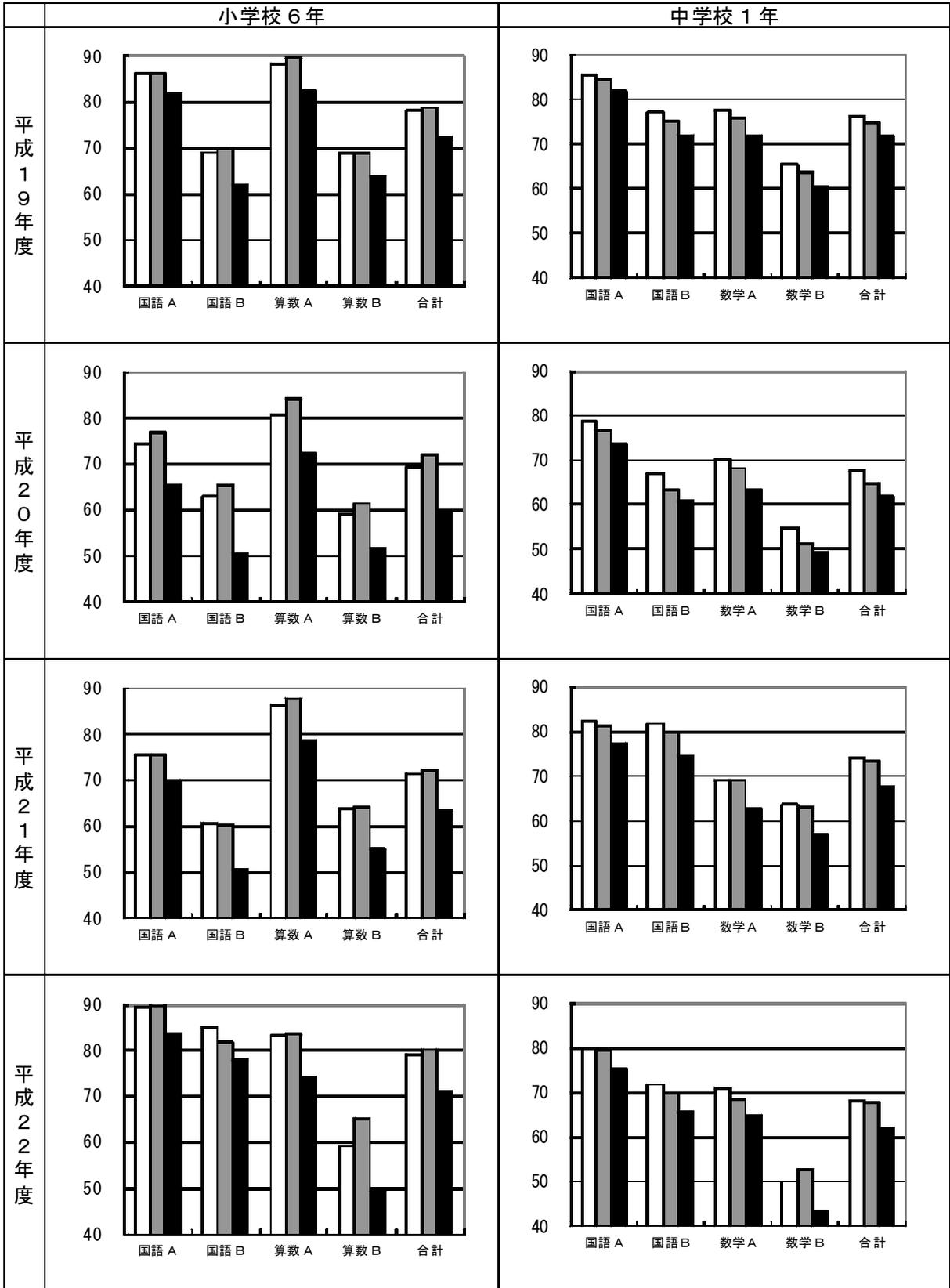
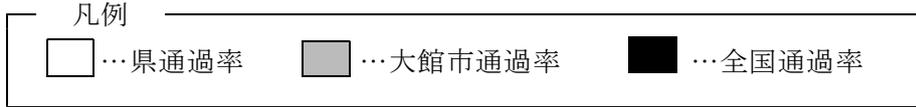
平成18年から平成22年度の中学校1年生、2年生、3年生の各教科の通過率(県通過率、大館市通過率、設定通過率)の一覧

(平成20年、21年、22年3年生は全国学力・学習状況調査の結果)



(3) 全国学力・学習状況調査の結果から

平成19年から平成22年



4 「教科学習推進委員会」委員名簿

＜平成20年度＞

役 職	氏 名	学 校 名
委員 長	米 澤 幸 男	矢立中学校校長（校長会）
副委員 長	花 田 千 明	西館小学校校長（校長会）
委 員	高 谷 松 英	有浦小学校校長（合同教育研究会）
	菊 地 さとし	第二中学校長
	高 松 修 二	矢立小学校教頭（教頭会）
	田 中 真 愛	南 中学校教頭（教頭会）
	松 下 健	城西小学校教諭（教務主任協議会）
	佐 藤 博 志	比内中学校教諭（教務主任協議会）
	松 尾 牧	東館小学校教諭（研究主任協議会）
	成 田 一 彦	花岡中学校教諭（研究主任協議会）
伊 藤 康 栄	教育研究所所長補佐（事務局）	

＜平成21年度＞

役 職	氏 名	学 校 名
委員 長	米 澤 幸 男	矢立中学校校長（校長会）
副委員 長	花 田 千 明	西館小学校校長（校長会）
委 員	福 田 眞	有浦小学校校長（合同教育研究会）
	高 松 修 二	矢立小学校教頭（教頭会）
	田 中 真 愛	第二中学校教頭（教頭会）
	藤 嶋 聖 人	上川沿小学校教諭（教務主任協議会）
	神 原 亮	東 中学校教諭（教務主任協議会）
	明 石 まき子	山瀬小学校教諭（研究主任協議会）
	加 藤 長 幸	比内中学校教諭（研究主任協議会）
	伊 藤 康 栄	教育研究所所長補佐（事務局）

＜平成22年度＞

「第7次学力向上に関する提言」作成

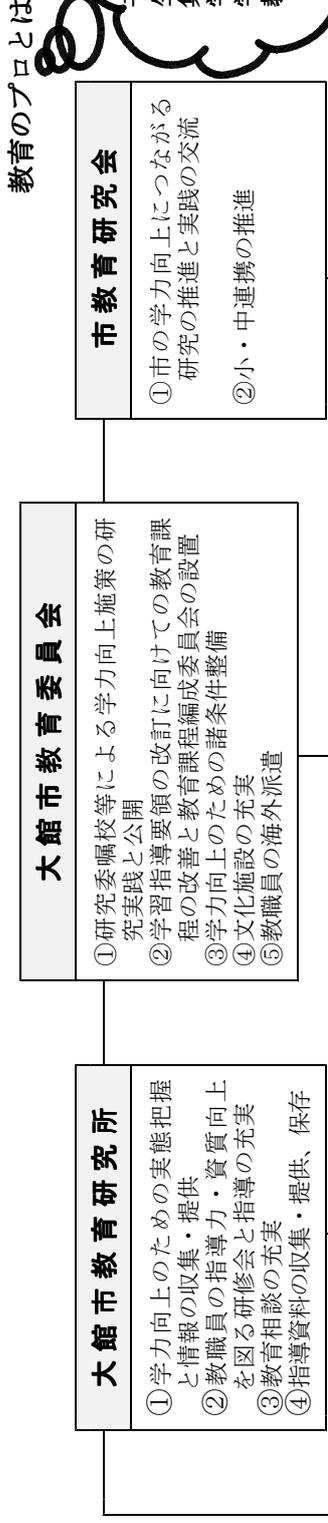
役 職	氏 名	学 校 名
委員 長	花 田 千 明	西館小学校校長（校長会）
副委員 長	米 澤 幸 男	田代中学校校長（校長会）
委 員	五十嵐 經	釈迦内小学校校長（合同教育研究会）
	六 部 勇 二	長木小学校教頭（教頭会）
	田 中 真 愛	第二中学校教頭（教頭会）
	田 村 直 子	城西小学校教諭（研究主任協議会）
	佐々木 長 則	第一中学校教諭（研究主任協議会）
	高 橋 令 人	成章小学校教諭（教務主任協議会）
	三 浦 薫	花岡中学校教諭（教務主任協議会）
	伊 藤 康 栄	教育研究所所長補佐（事務局）

第6次学力向上対策構造図(3か年計画)H20.21.22

大館市教育委員会

学習意欲を高め、確かな学力の向上を図る

- ※育てたい「確かな学力」
 - 基礎的・基本的な知識・技能
 - 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
 - 学習意欲
- ※身に付け高めたい「確かな授業力」
 - 心をつかむ授業づくり
 - 「わかる」「わらい」「わくわく」のある授業
 - 自己研鑽 ⇒ 積極的な研修



- 大館市教育研究所**
- ① 学力向上のための実態把握と情報の収集・提供
 - ② 教職員の指導力・資質向上を図る研修会と指導の充実
 - ③ 教育相談の充実
 - ④ 指導資料の収集・提供、保存

- 大館市教育委員会**
- ① 研究委嘱等による学力向上施策の研究実践と公開
 - ② 学習指導要領の改訂に向けての教育課程の改善と教育課程編成委員会の設置
 - ③ 学力向上のための諸条件整備
 - ④ 文化施設の充実
 - ⑤ 教職員の海外派遣

- 市教育研究会**
- ① 市の学力向上につながる研究の推進と実践の交流
 - ② 小・中連携の推進



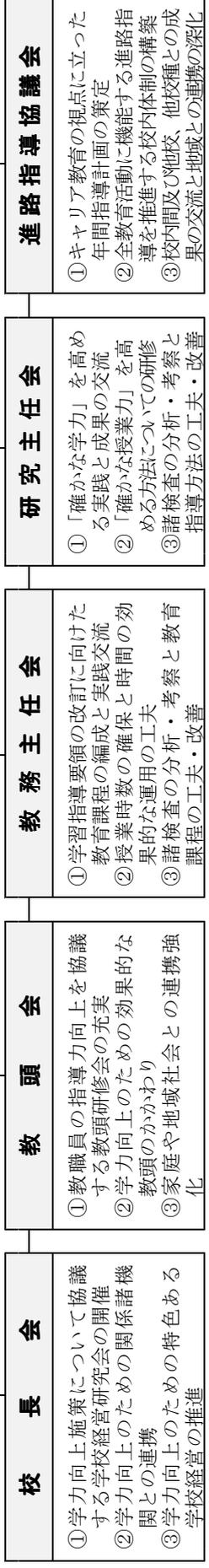
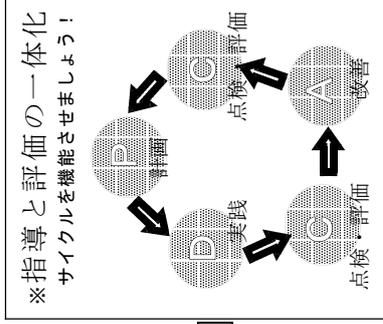
- 教科学習推進委員会**
- ① 各教育機関の取組状況の把握と働きかけ
 - ② 会報「こころみ」による事例紹介と意識の高揚
 - ③ 成果の集約と対策、提言

「パワーアップの手引き」の活用 (年度更新、配付)

子どもと教職員の力をいっしょに

＜3か年で、各学校で取り組む共通実践事項＞

- ① 小・中連携を通じた学力向上の取り組み
 - ・ 9年間を見通した系統的な視点による指導方法の工夫・改善
- ② 各学校間の積極的な交流
 - ・ 授業交流と積極的な授業公開
 - ・ 情報の共有化
- ③ 諸検査の分析と結果に基づいた指導
 - ・ 結果を踏まえた日常実践においての意識的指導、補充指導
- ④ 確かな学力を確立するための教育課程の工夫
 - ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれを活用する学習活動の確保等



- 校長会**
- ① 学力向上施策について協議する学校経営研究会の開催
 - ② 学力向上のための関係諸機関との連携
 - ③ 学力向上のための特色ある学校経営の推進

- 教頭会**
- ① 教職員の指導力向上を協議する教頭研修会の充実
 - ② 学力向上のための効果的な教頭のかかわり
 - ③ 家庭や地域社会との連携強化

- 教務主任会**
- ① 学習指導要領の改訂に向けた教育課程の編成と実践交流
 - ② 授業時数の確保と時間の効果的な運用の工夫
 - ③ 諸検査の分析・考察と教育課程の工夫・改善

- 研究主任会**
- ① 「確かな学力」を高める実践と成果の交流
 - ② 「確かな授業力」を高める方法についての研修
 - ③ 諸検査の分析・考察と指導方法の工夫・改善

- 進路指導協議会**
- ① キャリア教育の視点に立った年間指導計画の策定
 - ② 全教育活動に機能する進路指導を推進する校内体制の構築
 - ③ 校内間及び他校、他職種との成果の交流と地域との連携の深化

子どもと教職員の力を1割アップしよう

パワーアップの手引き

教師用

1. 学力向上のための土台はできていますか？

(平成23年度 大館市教科学習推進委員会発行)

学習するための基盤

- 子どもたちに基本的な生活習慣は身に付いている。
- 共に頑張ろう、高まっていこうとする人間関係ができています。



学ぶ意欲を高める授業

- 楽しく分かる授業をしようと心掛けている。
- 学習課題が子どものもものになっている授業をしている。
- 一人一人が進歩を実感できる授業をしている。

基礎・基本が定着する授業

- 子ども間違いや疑問を大切に、授業を進めている。
- 子どもつまずきに丁寧に対応している。
- 自己評価を取り入れた授業をしている。

教師の意識

- 子どもの3つの気持ちを授業の中で生かそうとしている。
↳ 「自分で決めたい」「できるようになりたい」「認め合いたい」
- 9年間を見通した指導を心掛けている。
- 「活用する力」を育てる活動を取り入れようとしている。

2. 授業づくりのポイントをチェックしてみましょう！

	確認項目	A	B	C	D
1	単元を通して指導すべきことを押さえながら、計画的に進めていますか 子どもが見通しをもち、一つ一つ確実に習得していくためには、教師がはっきりとした指導計画を・				
2	本時のねらいを吟味し、ゴールのある授業になっていますか。 指導内容を欲張らず、焦点化し、その分深く考えさせたりできるように・・・				
3	発問は吟味され、本時の課題が達成されるようなものになっていますか 簡潔で明快な発問、子どもの意欲を喚起する発問を・・・				
4	一人一人に学習が成立する授業になっていますか。 一部の子どもだけで授業が進んだり、「活動あって学習なし」となったりしないように・				
5	子どもの学びを支え、助ける板書をしていますか。 学習内容の理解を容易にし、授業の振り返りにも生きてくる板書を・・・				
6	子どもの活動時間を十分に確保した授業展開になっていますか。 「授業は教師の時間でなく、子どもの時間」という意識で、授業を組み立てて・・・				
7	一人一人の学習状況を見取って授業を進めていますか。 効果的な机間指導や自己評価など、あらゆる手立てを用いて・・・				
8	評価を生かし、適切な支援をしていますか。 子どもが「それならできそう」「なるほど」「ありがたい、助かった」と思えるタイムリーな支援を・				
9	子どもの声を聞いて、授業改善に役立てていますか。 謙虚な気持ちで、主人公である子どもの声に耳を傾ける機会を・・・テスト結果も子どもからのメッセージの一つ・				
10	他の授業から進んで学び、授業改善に役立てていますか。 授業の腕を磨き続けるためには、授業を見せ合い、勉強し合うことが・・・				

自己評価をしてみて、C・Dの項目は至急改善しましょう。自己評価は一度で終えず、定期的にチェックしてみましょう。

「パワーアップの手引き(教師用)」の活用にあたって

・大館市の第7次学力向上対策実現に向けた授業づくりのポイントを載せています。
第7次学力向上対策構造図と併せて、指導を点検するための資料としてお使いください。



◎ あなたの成績アップのために ◎

真新しい教科書の香りが、新たな夢と希望をふくらませてくれています。新学期は、何となく去年の自分、昨日の自分より一歩成長したような気分させてくれるから不思議です。

「学力」は「学ぶ力」であり、「学んだことを生かす力」でもあります。身近なことから深く観察したり、広く世の中の出来事に目を向けたり、生き生きと仕事をしている人たちから学んだしりながら次第に将来の自分への思いをふくらませていく。学力はそのような豊かな心の成長とともにのびていきます。

学校では、主に教科書を通して学ぶ力をつけていくための勉強を行います。勉強には少しコツがあります。ここでは、最も大事だと思われるコツをいくつか紹介します。ぜひ実行してみてください、学ぶ楽しさを発見してください。



授業や家庭学習で力をつけるコツ！

①わずかな予習でも大違い 授業前に教科書を読み、分からないところに？印やここは大事だと思うところにアンダーラインを引こう。不思議なくらい授業が分かるようになります。

②忘れ物は絶対しない 忘れ物をして授業に臨むのは、大工さんが道具を持たずに仕事場に行くようなもの。忘れ物をする人は勉強の方から嫌われてしまいます。

③オリジナルなノートづくり 黒板をそのまま書き写すのではなく、大切ところに印を付けたりメモを加えたりして自分なりのノートをつくる。「手早く書く」練習も大切です。

④分からないことはその場で質問しよう 分からないところが積み重なっていつの間にか弱点となってしまいます。疑問をもったらすぐ聞こう。質問上手は勉強上手につながります。

⑤復習は内容に応じてやり方を変えよう 家庭学習では、要点を整理するのか、大切なことを覚えるのか、すらすらできるようになるまで練習するのかをはっきりさせて取り組もう。

⑥教科書を上手に活用しよう 教科書は一人勉強をするときの最高のパートナー。今勉強しているところの前後を含めて繰り返し読もう。物語のような気分で読めればしめたもの。



勉強の心構え！

①あせらず、なまけず、ていねいに あせってやって身に付くものではなく、なまけていて完成するものもありません。一日一日を大切にしてコツコツやっていくことです。何ごともやることによって好きになります。

②「嫌い」は禁句 「苦手」と「嫌い」は根本的に違います。「苦手」は努力や工夫で克服できますが、「嫌い」は努力や助言を拒絶してしまうので悪い結果しか出てきません。やる気をなくすような気持ちに流されず、前向きに努力をしましょう。

③ナンバー1ではなくオンリー1を テストの点数の取り方を覚えるために、勉強するものではありません。自分自身の本当の実力を伸ばすことが大切。毎日の取組の中で自分なりのよさが磨かれ、自信がもてる何か必ず発見できるはず。勉強は自分探しの旅でもあるのです。

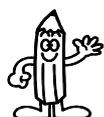


◎ あなたの成績アップのために ◎

真新しい教科書の香りが、新たな夢と希望をふくらませてくれています。新学期は、何となく去年の自分、昨日の自分より一歩成長したような気分させてくれるから不思議です。

「学力」は「学ぶ力」であり、「学んだことを生かす力」でもあります。身近なことがらを深く観察したり、広く世の中の出来事に目を向けたり、生き生きと仕事をしている人たちから学んだしりながら次第に将来の自分への思いをふくらませていく。学力はそのような豊かな心の成長とともにのびていきます。

学校では、主に教科書を通して学ぶ力をつけていくための勉強を行います。勉強には少しコツがあります。ここでは、最も大事だと思われるコツをいくつか紹介します。ぜひ実行してみてください、学ぶ楽しさを発見してください。



授業や家庭学習で力をつけるコツ！

①わずかな予習でも大違い 授業前に教科書を読み、分からないところに？印やここは大事だと思うところにアンダーラインを引こう。不思議くらい授業が分かるようになります。

②忘れ物は絶対しない 忘れ物をして授業に臨むのは、大工さんが道具を持たずに仕事場に行くようなもの。忘れ物をする人は勉強の方から嫌われてしまいます。

③オリジナルなノートづくり 黒板をそのまま書き写すのではなく、大切なところに印を付れたりメモを加えたりして自分なりのノートをつくる。「手早く書く」練習も大切です。

④分からないことはその場で質問しよう 分からないところが積み重なっていつの間にか弱点となってしまいます。疑問をもったらすぐ聞こう。質問上手は勉強上手につながります。

⑤復習は内容に応じてやり方を変えよう 家庭学習では、要点を整理するのか、大切なことを覚えるのか、すらすらできるようになるまで練習するのかをはっきりさせて取り組もう。

⑥教科書を上手に活用しよう 教科書は一人勉強をするときの最高のパートナー。今勉強しているところの前後を含めて繰り返し読もう。物語のような気分で読めればしめたもの。



勉強の心構え！

①焦らず、怠けず、丁寧に 焦ってやって身に付くものはなく、怠けていて完成するものもありません。一日一日を大切にしておつこつやっていくことです。何事もやることによって好きになります。

②「嫌い」は禁句 「苦手」と「嫌い」は根本的に違います。「苦手」は努力や工夫で克服できますが、「嫌い」は努力や助言を拒絶してしまうので悪い結果しか出てきません。やる気をなくすような気持ちに流されず、前向きに努力をしましょう。

③No. 1ではなくONLY 1を テストの点数の取り方を覚えるために、勉強するものではありません。自分自身の本当の実力を伸ばすことが大切。毎日の取組の中で自分なりのよさが磨かれ、自信がもてる何か必ず発見できるはず。勉強は自分探しの旅でもあるのです。

